

地域環境問題への取組み

化学物質の適正管理

使用した製品または機器等に含まれる化学物質およびPCB廃棄物(低濃度PCB含有機器を含む)、石綿含有品に対し、関係法令等を遵守し適切な使用・保管・管理・処理を行っています。

特定化学物質の排出量・移動量の管理

設備や建屋への塗装や火力発電所での給水処理に用いる製品には、化管法に定められた化学物質を含有しているものがあります。このため、定めた手順を遵守し安全に取扱いながら、排出量・移動量を把握に努め、取扱量の削減に取り組んでいます。

表：P R T R制度における化学物質の年間排出量・移動量(2022年度)

物質名	主な用途	取扱量	環境への排出量	廃棄物での移動量
石綿	保温材	1.5 t	—	1,530 kg
エチルベンゼン	機器の塗料	1.0 t	1,000 kg	—
キシレン	発電用燃料	4.9 t	1,494 kg	—
スチレン	機器の塗料	1.0 t	1,036 kg	—
1,2,4-トリメチルベンゼン	発電用燃料	2.9 t	19.4 kg	—
トルエン	発電用燃料	14.2 t	14,242 kg	—
ヒドラジン	給水処理	1.0 t	0.1 kg	—
ほう素化合物	肥料添加剤	15.7 t	0.4 kg	—

注) 第一種指定化学物質を年間1t以上、または特定第一種指定化学物質を年間0.5t以上取扱う事業所を集計。

石綿に関する使用状況

石綿に対する調査・対策を継続しています。現在の使用状況は下表のとおりです。今後も、関係法令などを遵守し、計画的に石綿の除去や非石綿製品への取替を進めるなど、適切に対応していきます。

表：建物および設備における主な石綿使用状況(2022年度3月末時点)

対象	使用箇所	現状(使用状況)	
石綿を含有する吹付け	設備機器室等の防音材、断熱材、耐火材	石綿含有が確認された吹付け材については対策済み	
石綿含有製品	建材	2006年8月以前に使用された建材に含まれていると考えられている。それ以降は石綿含有製品は使用していない。	
	防音材	変圧器の防音材(変電設備)	石綿含有が確認された防音材については対策済み
	石綿セメント管	地中線用の管路材料(送電設備)	亘長：約0.6 km
	保温材	発電設備(火力設備)	石綿含有製品残量：約20,000m ³ (全体の約2割)
	シール材・ジョイント		石綿含有製品残量：約31,000個(全数の約半分)
	増粘剤	架空送電線用の電線(送電設備)	電線防食剤 亘長：約76 km
		発電設備(水力設備)	アスファルト表面遮水壁 3施設 (大津岐ダム：福島県、沼原ダム：栃木県、本別発電所導水路開渠部：北海道)
	緩衝材	送電設備等の懸垂碍子	個数：約49万個 (碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には使用されていない)